

同公社



奥の茶全国へ

「日本一早い新茶」前面に

【国頭】県内有数のお茶の生産地、国頭村奥で作られた新茶が「日本で一番収穫が早い新茶」を掲げ、全国で発売される。奥茶業組合（糸満盛也組合長）と京都府で茶の生産、販売を手掛ける茶農家グループ「京都おぶぶ茶苑」（喜多章浩代表）が協力し、三月からインターネットで販売を予定している。関係者は

来月、ネット販売

初年度の売り上げを約千五百万円と見込んでおり、「日本一早い新茶の味を楽しんでほしい」と期待している。寒暖の差が大きく霧が出やすい奥の地形や土質などはお茶作りに適しており、八十年ほど前から栽培が始まった。茶業組合は現在、五種の茶畑で三種類のお茶を栽培している。沖縄のお茶は本土より

京都の農家と協力

二カ月近く早い三月に収穫でき、ことしは十六ㆶの生産量を見込んでいる。三月一日から注文を受け付け、三月上旬に予定している茶葉を収穫次第出荷する。おぶぶ茶苑は、京都府和束町で茶を生産する農家などで組織されたグループ。インターネットを通じて茶の産地情報や楽しみ方を提案しながら、世界百十六カ国へ茶を送っている。昨年夏ごろ、おぶぶ茶苑から茶業組合に全国

販売の提案があったという。糸満組合長は「『日本一早い新茶』の付加価値で、奥産のお茶を全国に広げたい」と語った。販売する新茶は「印雑」「やぶきた」「おくみどり」の三種。それぞれ百ㆶ入りで価格は九百八十円から。奥共同売店を通しておぶぶ茶苑のホームページで販売する。おぶぶ茶苑のホームページアドレスは<http://www.obubu.com/>

ユイマールハウス

琉球フロント沖縄

性定

「性評価事業」の選定企業に健康食品企画・販売のユイマールハウスの新社を認定した。

の企画開発プロデュース業。東京に拠点を置き全国に販売網を持つ関連会社の琉球フロントと琉球フロントリカーと連携